

平成 2 5 年度

事業計画書

公益財団法人 関西・大阪 2 1 世紀協会

- 21世紀になって、長引く厳しい経済状況や行政の財政危機、相次ぐ自然災害、東アジアの安全保障問題など、国内外で様々な困難な課題が山積しています。その中で、日本は新しい輝きを求めて、努力をしなければなりません。
- こういう時代にこそ、日本人が大事にしてきたモラルとか精神的強靭さ、連帯心といったものを強く維持して行かなければならないと思います。
- 文化・芸術が持つ潜在的な力は、困難を克服する強靭な精神を守ることにつながります。政治・経済の波にかかわらず、再び輝く国になれるかどうかは、日本の国力である伝統・文化をしっかりと維持できるかどうかにかかっています。
- こうした問題意識のもと、平成25年度は、
 1. 文化力の向上と人材育成、
 2. 関西・大阪のブランディング、
 3. 伝統と創造、を3本の柱として、上方文化芸能協会からの事業の承継も含め、次ページに掲げる事業を推進してまいります。
- なお、今年度は経済団体の提言も受け、「民（たみ）による文化支援」の強化にも注力します。

1. 文化力向上と人材育成

関西の歴史的、文化的なポテンシャルを踏まえ、いま、関西・大阪が果たすべき文化の諸課題を探り、広く有識者を交えて討議し、その成果を発信するとともに、次代を担う若手の人材発掘・育成に取り組む。

(1) 文化力の向上

① 関西・大阪文化力会議 (公益目的事業)

国内外の有識者(経済界、行政、研究機関ほか)を招聘し、アジアの安定と発展のため果たすべき日本の役割やその文化戦略について議論を深めるとともに、関西の役割を考察し、その成果を広く発信する。

主 催 (公財)関西・大阪21世紀協会、(株)大阪国際会議場、
大阪国際フォーラム

実施時期 平成25年11月

② アート・アセンブリー (公益目的事業、その他事業)

大阪文化祭賞受賞者をはじめ、音楽・芸術分野における優れたアーティストたちの作品を経済人や有識者、報道関係者に紹介する発表の場づくりと交流の場づくりを行う。

主 催 (公財)関西・大阪21世紀協会

実施時期 平成25年秋

③ インターナショナル ワークショップ フェスティバル DOORS (公益目的事業)

古典芸能からポップカルチャー、最新アートなど、関西・大阪で活躍する多彩な文化人を講師に迎え、体験型のワークショップをワンコイン(500円)で集中開催する。市民が志民となり、教え・学ぶ場を作ることにより、「文化を体験する」楽しさを提供し、市民の創造活動を誘発し、文化の裾野を広げ、大阪の文化力を高める。さらに、後述の大阪城サマーフェスティバルの関連(フリンジ)事業と位置づけ、総合的な発信力の強化を目指す。7年目を迎える本年は100講座の開講を目標とする。

主 催 International Workshop Festival 実行委員会

(大阪市、LLPアートサポート、(公財)関西・大阪21世紀協会)

実施時期 平成25年7～8月

④ 21 cafe (その他事業)

関西・大阪で文化創造活動やまちづくりに携わる多彩なゲストを招き、話題提供と情報交換をサロン形式で開催。異分野の参加者が交流し、新しいアイデアやコラボレーションを生み出す場を創出するとともに、関西・大阪21世紀協会の人的ネットワークの幅と厚みを拡大し、文化力向上の一助とする。

実施回数 年6回

⑤文化事業等への後援 (その他事業)

関西・大阪の文化振興、地域活性化に資する団体、個人、行事について後援（後援名義の使用許可、賞状・楯の授与等）を行い、当協会が発刊する「KANSAI*OSAKA 文化力」（後述）やホームページ、メルマガで広く活動を紹介、PRする。

(2) 人材育成

①大阪文化祭賞 (公益目的事業)

大阪の芸術文化活動の奨励及び普及を図り、文化振興の機運を醸成することを目的とし、大阪府・大阪市とともに平成25年5月～6月に大阪府内で行われる公演を対象に「大阪文化祭」を開催する。参加公演の中から注目すべき成果をあげた個人または団体に賞を贈呈し、広く紹介する。当協会からは、表彰楯、副賞を贈呈する。

主 催 大阪文化祭実行委員会

(大阪府、大阪市、(公財)関西・大阪21世紀協会(事務局))

贈 呈 式 平成25年8月～9月

②アートストリーム2013 (公益目的事業)

公募選考により、関西一円で活動する若手アーティストやクリエイターを発掘し、作品発表の場を設けるとともに、出版社や芸術関係者とのビジネスマッチングの場を提供することで、関西の芸術・文化の高揚を図る。あわせて、絹谷幸二氏、蓑豊氏らを審査委員に迎え、アート、デザイン、キャラクター作品を選考し、インパクトのあるアワードを発表するとともにアートマーケットを行う。

主 催 アートストリーム実行委員会
(大阪府、大阪市、大阪芸術大学、(公財)関西・大阪 21
世紀協会(事務局))
実施時期 平成 25 年 10 月

③インテリジェントアレー・専門セミナー (公益目的事業)

関西の大学、大学院が協働して開催する「関西社会人大学院連合」の社会人向け専門セミナーに、当協会が冠講座を提供し、文化による人材の育成及び地域活性化をテーマに3ヶ月間の集中講座を実施する。

主 催 NPO 法人 関西社会人大学院連合
実施時期 平成 26 年 1 月～3 月

2. 関西・大阪のブランディング

関西・大阪の魅力向上と知名度向上を図るため、関西・大阪のブランド情報を収集、スタディし、媒体ごとに機能的、効果的な発信を行う。

(1) 情報発信

①関西・大阪ブランドの映像制作と関西国際空港等公共スペースでの発信 (公益目的事業)

当協会が制作する四季の関西ブランド映像集「Welcome to KANSAI～四季の関西・大阪の魅力(季節の景観、風物)～」を関西国際空港の税関エリア及び、大阪空港で放映し、内外から訪れた観光客に、関西の魅力を訴求する。また、これらの映像を著作権フリーのライブラリーとして海外向けに利用拡大を図る。

②「はなやか関西～文化首都年～」との連携 (公益目的事業)

「はなやか関西～文化首都年～」事業(事務局 国土交通省近畿地方整備局)と連携し、関西が誇る文化資産、魅力的なブランド資源をウェブマガジンなどで発信し、関西ブランドのPRに努める。

③「KANSAI*OSAKA 文化力」の発行（公益目的事業）

関西・大阪のブランド力向上を目的として、当協会の様々な取り組みをはじめ、関西のオピニオンリーダーの声や、将来が期待されるアーティストの活動を紹介するブランド誌を刊行する。公立図書館や大学、高校、公的機関などへ広く配布。

発行回数 年2回

④ウェブを通じた情報発信（公益目的事業）

当協会が主催する芸術文化活動、伝統行事など様々な事業の最新ニュースを動画やウェブマガジンを通じてタイムリーに発信する。

⑤御堂筋等におけるバナー展開（収益事業）

当協会が保有する街路灯のバナー取付具を活用し、御堂筋や長堀通り等の市道のブランディングに相応しいイベントバナーを掲揚し、都市景観の向上を図る。

（2）広報活動（公益目的事業）

一般向けに毎月広く配信する「メールマガジン」や「協会だより」を活用し、協会の事業の取り組みや協会が後援するさまざまなイベントをタイムリーに情報発信する。

また、当協会の活動を広く理解していただくために、マスコミ関係者とのリレーションを強化する取り組みを行う。

3. 伝統と創造

古代より日本の中心地として栄えた上町台地エリアの歴史的資産や伝統行事の研究を深めるとともに、本年4月に（財）上方文化芸能協会の諸事業を承継し、上方芸能文化の振興・発展を図る。あわせて、大阪城・上町台地エリアを中心に、地域の歴史的な資産を活かした都市魅力を創造し、大阪らしい都市文化やその魅力を広く発信し、観光集客の一助とする。

(1) 無形文化財の保護、育成事業への支援 (公益目的事業)

(財) 上方文化芸能協会から承継された上方文化芸能振興事業及び上方伝統行事を実施、支援し、当協会の諸事業との相乗効果や総合力を発揮できるように展開する。

上方文化芸能振興事業 伝統行事等の伝承者の育成

「日本の文化に親しむ」の公演・講演、
シンポジウム等

季刊雑誌「やそしま」の発行

上方伝統行事

今宮戎神社宝恵駕行事 (1月10日)

住吉大社御田植神事[重要無形民俗文化財]
(6月14日)

上方文化芸能の調査研究

(2) 歴史文化の魅力再発見のための調査研究

① ミナミ・上町台地の調査・研究 (公益目的事業)

大阪、上町台地の歴史や伝承を探り、伝えられてきた催事に触れ、実地調査を行い、その歴史的役割や大阪のアイデンティティを探る。

実施時期 春から秋にかけ4回程度実施

② (仮称)「なにわ大坂100人選」プロジェクト (公益目的事業)

古代から近世にかけて「なにわ大坂」で活躍した100人を選抜し、時代背景を含めた情報収集を図る。古代日本の都市文化発祥の地である「なにわ大坂」で蓄積されてきた伝統やいわれ、伝承を確認し、“日本のアイデンティティ”を探り、ホームページ等でその成果を発信していく。プロジェクトは平成25年度から3年かけて実施し、最終的に報告書の出版を目指し、広く情報を提供していく。

実施時期 プロジェクト期間3年として通年で実施

(3) 水都大阪まちづくり

「大阪の陣400年」を迎える2015年をシンボルイヤーとして、大阪城を中心に都市魅力を発信し、観光集客都市を目指すという機運が高まりつつある。当協会が8年にわたって取り組んできた大阪城サマーフェスティバルの実績とそのネットワークを最大限に活用し、大阪城サマーフェスティバルの新たな展開を構築するとともに、大阪城周辺から八軒家浜、中之島界限への広がりのある事業を強化する。

① 平成OSAKA天の川伝説2013 (公益目的事業)

当協会は、本年度も平成OSAKA天の川伝説実行委員会とともに主催者として参画し、7月7日の七夕の夜に大川・八軒家浜界限に“いのり星®”を放流し、大川の川面に「天の川」を出現させる。大阪城サマーフェスティバルのキックオフ事業として大阪城周辺の賑わいを創出するとともに、「水都大阪」をアピールする夏の象徴的な行事として定着させる。

主 催 平成OSAKA天の川伝説実行委員会
(公財)関西・大阪21世紀協会(事務局)
実施時期 平成25年7月7日

② OSAKA水上音楽パレード2013 (公益目的事業)

八軒家浜及び道頓堀川において、高等学校吹奏楽部の演奏を中心とした「水上音楽パレード」を実施し、水辺の賑わいを創出し、水都大阪のアピールを目指す。4回目となる今年度は、開催時期をこれまでの秋から春に移すとともに、ゲストに関西フィルハーモニー管弦楽団の首席指揮者 藤岡幸夫氏を迎え、集客と発信力の強化を目指す。あわせて、高校生では全国でもトップクラスといわれる大阪のチアリーディングやストリートダンスの発表の場を設け、「御堂筋パレード」に替わる高校生達の発表の場を創出する。

主 催 (公財)関西・大阪21世紀協会
実施時期 平成25年4月27日

(4) 大阪城サマーフェスティバル2013 (公益目的事業)

大阪の「舞台芸術の発信」と「賑わい創出・観光集客」を目的として、大阪城周辺で実施される様々なイベント情報を集約し、発信するためのプラットフォームづくりと合同パンフレットを作成する。

2015年の「大阪の陣400年」を控え、「大阪城サマーフェスティバル」のさらなるステップアップを目指し、関係機関と協議、準備する。

主 催 大阪城サマーフェスティバル実行委員会

(大阪府、大阪市、経済団体等、(公財)関西・大阪21世紀協会(事務局))

実施時期 平成25年7月～9月 (パンフレット掲載イベント)

4. 文化支援ネットワークの構築

(1) 「民(たみ)による文化支援」の準備・推進

関西経済同友会「歴史文化振興委員会」の提言ならびに本年2月の「関西財界セミナー」での議論を踏まえ、民による文化支援の諸準備を始める。

(2) 協会事業への理解促進

賛助会員企業や新規会員勧誘のための企業訪問を積極的に行うとともに、賛助会員向けの講演会や交流会を行い、協会事業への理解に努める。